

固定チームナーシングの理念から 今・臨床看護職・介護職に伝えたいこと



2022/11/23 21回中部地方会研究集会にて
固定チームナーシング研究会 西元勝子

訪問看護師の判断を支える4つの力(要素)と意思決定の共有

引用:清水奈穂美 在宅ケアの判断力トレーニング P.7・図1、医学書院、2022

1 手がかりを感じとる力

関心をよせる、気づき、疑問をもつことから判断するための思考を始める。

2 見えないことを推論する力

病状と生活を関連づけて想像する、情報をまとめ分析し解釈する、複数の仮説を立てることから考えられる原因を探し、推論を重ねて予測的判断を行う。

3 考えを言葉にする力

対話を積み重ねる、身体の声を翻訳する、予測されることを伝えることから、相手の反応に合わせて判断に基づいた考えを説明する。

4 余計なことをしすぎない力

自他の価値観を区別する、力を信じて待つ、背中を押す、撤退することを考え、予測的判断と価値判断をすりあわせる。

5 最善解を導く (意思決定の共有)

STEP1~4を統合し
その人にとっての最善の判断を導く選択を支え、
意思決定を共有する。

訪問看護師の「判断」が導かれる思考サイクル

在宅ケアのための判断トレーニング-訪問看護師の思考見える引用(医学書院P3483号)

5 最善解を導く
意思決定の共有

- 自他の価値観を区別する
- 力を信じて待つ
- 背中を押す
- 撤退する

1 手がかりを感じ取る力

- 関心をよせる
- 気づき
- 疑問を持つ

4 余計なことをしすぎない力

- 対話を積み重ねる
- 身体の声を翻訳する
- 予測されることを伝える

2 見えないことを推論する力

- 病状と生活を想像する
- 情報を分析し解釈する
- 複数の仮説を立てる

目的意識・問題意識・時間意識をもち 問題解決の糸口を探る、臨床看護は小集団活動の チーム力で挑戦する

